

経緯・デザインの想いなど

日本郵便では、令和6年能登半島地震からの復興を支援したいという想いのもと、石川県能登地域に所在する郵便局社員達とともにレターパックを活用した取り組みを検討してきました。

何度も検討を重ねていく中で、社員達から、能登半島は復興の道半ばであるものの、「これまでの復興支援に対する感謝・希望」の想いを書道作品に込め、それをレターパックにデザインした上で、全国に想いをお届けしたいとの発案がありました。

裏面に掲載している書道作品は、日本航空高等学校石川および石川県立能登高等学校の書道部に制作協力を依頼したものです。両校ともにこの取り組みの意義にご賛同いただき、本作品の制作にあたっては、両校が幾度も打ち合わせを重ねて試作を行った上で、能登の感謝の想いを込めたとても力強い作品を書き上げていただきました。

なお、両校の作品を並べることで、中央には能登地域を表現した地図が描かれるよう工夫していただきました。

また、石川県もこの取り組みにご賛同いただき、能登を応援する「ハートのロゴマーク」や復興のシンボルとなるトキ放鳥PRキャラクター「のときー」の使用をご提案いただきました。

レターパックのフラップ部分にある「おかげさんで ありがとう」には本レターパックの制作に携わった全ての人の想いが込められています。

本レターパックの販売および配達を通じて、全国のみなさまにこの「想い」を届けてまいります。

【フラップ部分】

能登から おかげさんで ありがとう

※石川県立能登高等学校書道部に制作していただきました

【裏面】



能登の一体感を表現するために、両校が試作を繰り返し、中央部分には、能登地域を表した地図が表現されるよう制作したものです。

両校の作品の説明は次頁のとおりです。

【右の作品】

能登半島地震から2年が経ちました。全国の皆さまから寄せられた支援や励ましは、私たちの心を大きく揺り動かしました。この「動心」という作品は、出来事に触れ動かされた心が、能登へ注がれ、復興の力へとつながっていく様子を表現しました。寄せられた愛に作品で何か伝えたいという想いから、3年生で墨に気持ちを込めました。この作品が全国の多くの方に届き、今後のさらなる希望につながることを強く願います。

日本航空高等学校石川書道部



【左の作品】

「縄文人(じょうもんびと)も見た青さ」は、能登高校の校歌の一節です。能登町には、国指定史跡である真脇(まわき)遺跡があります。これは縄文時代の集落遺跡であり、数千年にわたり続いてきた能登の豊かな自然を象徴する存在です。さらに、能登には祭事や日々の暮らしといった伝統文化が「継承」されてきました。希望に輝く明日の能登を拓くためには「創造」することが大切だと考えます。継承と創造が調和するこれからの能登に「愛郷心」を変わず持ち続けていきたいと思っています。

石川県立能登高等学校書道部



【表面】



令和8年 能登の空へ
本州初のトキ放鳥決定！



PRキャラクター
のとっきー